

し ゃ き ょ う

# 社 協 かみかわ

No. 66

2016年10月発行

## ～地域福祉の情報紙～

### 主な記事

- 2ページ 夏休みこども塾、ちょっといいこと運動  
遠くへ行こうデー
- 3ページ 赤い羽根募金
- 4ページ 常勤ケアマネジャー等募集
- 5ページ おゆずりプラザ、  
キャンドルサポーター募集



表紙より

# 10・11月号

編集発行 社会福祉法人  
神河町社会福祉協議会

## 夏休みこども塾

おいしそうに焼けたバームクーヘン  
今からいただきます～す！！

(2P 関連記事)

## 遠くへ行こうデー



今年は  
有馬温泉を  
ぶらり散策!

重い障がいのある方や介助の必要な方に、楽しい一日旅行のご案内です。

今年の旅行は、ホテルのバイキングを満喫し、その後は有馬温泉をゆっくり散策します。

昔に訪れた時のいろんな思い出がよみがえってくるのでは?

- ・開催日 11月8日(火)
- ・参加費 @2,000円
- ・募集数 20名程度

◎車いす対応の大型バスで行きます。ご家族も一緒にどうぞ。

◎乗降や移動、トイレなどの介助はボランティアがお手伝いいたします。

10月21日(金)までに社協へお申込みください。

☎32-2303



お姉さんに教えてもらいながら宿題やっぴ〜す

## 夏休み こども塾

地元の学生が手伝ってくれました。

去る8月18日、神崎支庁舎で、小学生の夏休みの宿題を学生がお手伝いする夏休みこども塾を開催しました。

参加した高校生や大学生、専門学生は、児童の計算ドリルや読書感想文、絵を書いたりすることを手伝ってくれました。また、野外調理をしたり、みんなで協力してバームクーヘンを焼き上げました。

参加した中には、子どもと関わる仕事に就こうとする学生もあり、「今後この経験を活かすことができれば」と、この日の感想を述べていました。生まれ育った地域でのボランティア活動に興味を持ち、参加してくれた学生の方、どうもありがとうございました。

やさしい  
気持ちがいっぱい

## ちょっといいこと運動

今年の夏休みも、町内の子ども達が『ちょっといいこと運動』に取り組みました!一部を紹介します。

### ◎小1男子

★あなたがした「ちょっといいこと」で、心に残っているのは?

「たべたしよつきをながしへもっていったこと」

★あなたは「ちょっといいこと」をしたときにどう思いましたか?

「おかあさんがよろこんでくれてうれしかったです」

### ★保護者の感想

「小学生になって、お手伝いを自分で考えてできるようになって、成長したな」とうれしく思いました。あてにできて助かりました(笑) 得意そうに、やりとげた」という顔をしている時、親子で素直にほめあえて、『ありがとう』と言えるきっかけになりました。」

### ◎小4女子

★あなたがした「ちょっといいこと」で、心に残っているのは?

「友達が困っていたりしたら『どうしたの?』と聞いたりする。お母さんが少しでもたすかることを、だまってやってあげた(お皿洗い、花の水やりなど)。」

★あなたは「ちょっといいこと」をしたときにどう思いましたか?

「『わあやってくれたの。ありがとう。助かるわ。うれしいわ。』と大喜びしているお母さんを見ると、私の方がうれしく

なつて、もつともつとしてあげたいなと思いました。」

### ★保護者の感想

「一年経つこと出来ることが増え、その自分から気がついて、やってみたいからしてあげたいという気持ちがどんどん伝わるようになり、心の成長を感じずにはいられません。してくれる内容もていねいさが加わり、より嬉しい限りです。また、小さなことでも喜んであげることが嬉しさになり、心の成長の手助けとなるので、まず大人が、家族が『ありがとう』と自然に言える、伝えられることが大切だと、子どもの言動や表情を見ると感じました。子育てですが、親が育てられていくような気がします。」

他にもたくさんの方の「ちょっといいこと」カードが届いています。小学生の間は、家のお手伝いが中心ですが、学年が上がるにつれ相手が喜んでくれることを考え自ら実行できるようになったり、家族だけでなく地域のみんなに喜ばれる活動に繋がったりしているようです。

神河町は、とっても優しい気持ちの子ども達ばかりです。そして、お子様の優しい心をあたたかく見守り育んでおられる御家族もとてもステキですね。





## ～自分の町をよくするしくみ～ 70年目を迎える 『赤い羽根共同募金』

今年も10月の赤い羽根募金運動を実施するにあたり、たくさんの方々のあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。  
お寄せいただいた募金は、次年度に神河町社協がおこなう、次の福祉活動に活用されます。

### ①『福祉給食サービス』

高齢のおひとり暮らし等で見守りが必要な方へ、毎週一回、安否確認のためにご自宅へお弁当をお届けいたします。

### ②『病院送迎サービス』

お体の不自由な方を車いすのまま乗れる福祉車両を使って、自宅から町内外の病院までの送迎を低料金でおこないます。

### ③『法律相談所』

日常におけるトラブルや悩みごとなど、法律に関する様々な問題をすみやかに解決するよう、弁護士さんの適切なアドバイスをもらいます。

### ④『夏休みこども塾』

夏休みで帰省中の若者が、ボランティア活動として、町内の小学生たちに宿題を教えたり、一緒に食事を作りながら子どもたちとの交流を図ります。

### ⑤『終活セミナー』

残される家族に負担をかけないよう、また安心して余生を過ごすため、人生を締めくくる前に何をしておくべきかをいろいろ考えます。

戸別募金については、各区長さんを通じてお願いさせていただきます。

事業所募金については、10月中旬、各事業所を訪問し、募金協力をお願いいたします。



### ◆街頭募金活動の予定

10月3日(月)

・早朝…J.R寺前駅 新野駅  
・お昼…Aコープ栗賀店前  
・夕方…マックスバリュ神河店前

11月6日(日)

・かみかわ商工祭  
(神崎支庁舎前)

### ① 小中学生への“支援金”

経済的にゆとりのない世帯の小中学生への“支援金”の配布

### ② 生活をつなぐ“生活支援金”

生活が困窮されている世帯への“生活支援金”の配布

### ③ 年末大掃除サービス

おひとり暮らし高齢者等の年末の大掃除の代行

### 歳末たすけあい募金

☆募金運動期間は10月から12月  
〈目標額は1世帯500円〉

### ④ 遠くへ行こうデー

重い障害のある方の、楽しく安心できる外出イベントの実施

### ⑤ 子どもお楽しみイベント

ボランティアさんによる子どもクリスマス会の支援

### ⑥ 介護お見舞品の配布

在宅で介護を受けられている方の世帯へのお見舞品の配布

歳末たすけあい募金は、区長さんを通じて各世帯にご協力をお願いいたします。  
この募金活動に一人でも多くの方々のあたたかいご協力を、よろしくお願いいたします。

とてもやりがいのあるお仕事です！

## 常勤ケアマネジャー、 常勤・登録ホームヘルパー募集！



介護が必要になっても、これまで生活してきたご自宅で引き続き暮らしたいと思うのは当たり前です。それを実現するために大きな役割を担っているのが、ケアマネジャーやホームヘルパーです。

社会福祉協議会は、ご自宅を訪問する介護サービスをおこなっていますが、利用者の増加により、常勤ケアマネジャー1名と、常勤・登録ホームヘルパーを募集します。

勤務場所は神河町内で、夜勤などがないために安心して

働けます。また、介護のお仕事からしばらく離れブランクのある方でも丁寧に指導いたします。

応募方法は、履歴書に有資格者証と運転免許証をご用意のうえ、社協事務所へお越しください。

詳しいことはまず社協へお問合せ願います。

ご利用者から「本当にありがとう」と感謝していただきとてもやりがいのあるお仕事です。

☎ 32-2303

## 社協会費にご協力 ありがとうございました

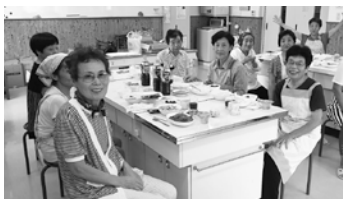
一般会費 4,033,500 円  
特別会費 561,000 円  
(98 事業所)

助け合い支え合いの精神のもと、社協会費を納めていただくことは福祉活動参加の第一歩となります。社協は、皆様のご支援とご参加をいただきながら「誰もが安心して暮らせるささえあいの地域づくり」の実現に向けて様々な事業に取り組んでいます。

今年度皆様からご協力いただいた会費は、次の事業に充当させていただきます。

- \* 心配ごと相談の開設
- \* 社協広報紙の発行
- \* 福祉サービスの利用や金銭管理のお手伝い
- \* ボランティア活動の支援 など

## ご自宅で介護されている方へ 『介護者の会』に入って 悩みを共有しませんか？



9月はみんなでカレーを作りました

お家で介護されている方の介護についての悩みや不安を共有できる場があります。

この会では、介護している方のストレス解消を目的に、「こんな困ったことがあったんや、聞いて～」と介護をしている方同士でしか分からないことを中心に話しています。おしゃべりだけでなく、軽く体を動かしたり、ピクニックへ行ったりして気分転換もしています。

興味を持たれた方は、まずはお気軽に体験から始めてみませんか。

- ・日程 10月5日はあやめ苑へ施設見学に行きます。  
(定例会は、原則毎月第1木曜)
- ・費用 1,000円(年会費) 及び500円程度/回

◎申込・問合せ先 たまゆらの会事務局(社協)まで

## TSU・NA・GU② 〈“お互い様”のまちづくり〉



2000年に介護保険制度が創設され、介護が必要になれば、介護保険のサービスも利用しながら家での生活を維持できるようになりました。担当ケアマネジャーと相談しながら、ディサービスやヘルパーを上手に利用して自宅で暮らす方が増えましたが、一方でディサービスを利用することでそれまで行っていた地域の集まりに行けなくなったり、ヘルパーを利用することで近所からのおすそ分けやちょっとした手助けがなくなったりなど、地域とご本人の繋がりが弱くなってきたとも言われています。

また、2025年には団塊の世代が75歳を迎え、さらに支援や介護を必要とされる方が増えると予測されますが、支える側は減少の一途で、介護人材の確保もより一層難しくなってくるでしょう。そうなる前に、介護の専門職はより重度な方へのケアに集中することになり、支える側は得ません。

そこで、地域の繋がりを取り戻すためにも、元気な方はもちろんですが、支援や介護が必要な状態になっても介護保険サービスを利用するだけでなく、住民同士の見守り合いや助け合いの中で、日常生活が安心しておくれる地域づくりが求められています。

困っているときは「手伝ってほしい」と気兼ねなく頼める、できないことはできる人が助ける、そんな「お互い様」の気持ちが行き交う神河町を一緒に作りましょう。

今年もやります！

社協の子育て応援

『おゆずりプラザ』



社協では、今は使用していない子育て用品を必要の人にお譲りする『おゆずりプラザ』を10月に開催します。

そこで、ご家庭で眠っている子育て用品の寄付を募集しています。必要としている人に譲ることで、神河町の子ども達と子育て中の家族を応援しましょう！

★寄付していただきたいもの

0歳から概ね小学校低学年くらいまでの子育てに必要なもの

(例：ベビー用品・衣類・おもちゃ・絵本・制服など)

★受付できないもの

・衛生上問題のあるもの(哺乳瓶の吸い口やおしゃぶりなど)

・漫画や雑誌、教科書

・汚れたひどいもの、破損しているもの  
(次の子どもも喜んで使用できるよう、充分確認してください)

★集める期間

10月24日(月)～10月28日(金)

8時30分～17時00分

★持ってきていただく場所

神河町社会福祉協議会

(栗賀町630番地 神崎支庁舎内)

さらさら館 おひさまルームでも結構です。  
持ってくるのが難しい場合は、社協にご連絡ください。

★その他

高価なもの(ベビーカーなど)には安価な値段をつけます。売上げは共同募金に寄付し、子育て支援に活用します。  
取扱説明書などがありましたら、品物と一緒にお届けください。

おゆずりプラザOPEN!

◇日時◇

10月30日(日)～31日(月)  
13時～16時30分

◇場所◇

神崎支庁舎 研修室

### 「心配ごと相談所」

〈毎月第2金曜日〉●開設時間 13時～16時

日常生活の困りごとや心配ごとなどを行政相談員、人権擁護委員、民生委員がご相談に応じます。

開設日	会場	相談員
10/14	大河内保健福祉センター	高内三千男、児島大造、藤原慶子
11/11	神崎支庁舎	難波千咲子、古家康資、竹國民代

### 「法律相談所」

〈偶数月の第4水曜日〉

●開設時間 13時30分～16時30分

お抱えのトラブルを法律で解決するために弁護士が相談に応じます。相談時間は1人30分です。

開設日	会場	相談員
10/26	神崎支庁舎	兵庫県弁護士会 派遣弁護士

\* どちらの相談所も、前日までにご予約ください。

\* 皆様から頂く会費や共同募金を財源に実施しています。

～まず隣からひろげようたすけあい～  
6月「善意の募金」のお礼とご報告

総額 1,051,531円

今年もあたたかいご協力をありがとうございました。

皆様からの募金は、社会福祉協議会が推進する次の事業に有効に活用させていただきます。

☆ひとり暮らし高齢者のつどいや福祉給食サービス

☆就園前の幼児と保護者が集う子育てひろばへの助成金やおゆずりプラザ事業

☆ボランティア活動を支援し、ひろく育くみ推進するための事業や助成金

☆誰もが安心して暮らせる地域づくりのための助成金

大震災を忘れないために！災害に備えるために！  
家族で災害について話し合うきっかけに！

阪神・淡路大震災1・17のつどいの

キャンドル  
サポーター募集



昨年のろうそくづくりの様子

日時：11月13日(日) 9:30～

場所：神崎支庁舎 参加費：不要

内容：小学生から参加できます。ろうそくづくり、防災についてのお話などを予定しています。ご家族、ご近所お誘い合ってご参加ください。

お米を提供  
してください！

新米が採れるこの時期に、ご自宅で余っているお米があればお譲りいただければいいですね。いただいたお米は、何らかの理由で生活にお困りの方に随時配分して使ってもらいます。

また、高齢者等への見守りとして実施している「福祉給食サービス」などの事業にも一部使わせていただきます。

お米は新米か  
27年度産を  
希望します。

お譲りいただける方は、まず社協へご連絡ください。

022-2303



# 感謝のお知らせ

(7月15日～9月14日)(敬称略・受付順)

## 【善意銀行】ありがとうございます

氏名	地区	内容	一言コメント
桐月 敬	吉富	供養として	
匿名		供養として	
児島 浩一	寺前	供養として	父がお世話になりました
匿名		供養として	
藤原 真樹	猪篠	供養として	社会福祉に使って頂いたら嬉しいです
小林 敏子	峠	供養として	
羽岡 國隆	山田	供養として	
匿名		福祉のために	
森 繁夫	中村	供養として	大変お世話になりました ありがとうございます
吉田征一郎	吉富	供養として	
神田 正人	栗賀町	供養として	
安保 剛	新野	供養として	大変お世話になりました
寿福寺女性部	鍛冶	福祉のために	"地藏盆チャリティバザー 売上金の一部"
合計			578,000円

善意銀行の預託金は、町内小中学校・高校の福祉教育活動やボランティアの助成金、高齢者などへの給食サービスの材料代、地域づくり助成金などに使われています。

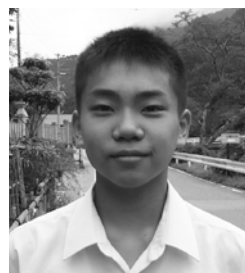
## 【収集ボランティア】【物品預託】

《古切手・ベルマーク、書き損じハガキ》

- ・ 匿名 介護用品
- ・ 匿名 衣類
- ・ 高橋 旭(貝野) ポータブルトイレ
- ・ 匿名 シルバーカー
- ・ 匿名 衣類
- ・ 伊達 直人 図書券など
- ・ 中島 信重(根宇野) プルタブ
- ・ 匿名 3名

## かみかわペンリレー 29人目

町内の皆さんを一つの輪でつなげます。



〈前号の宮崎ちず代さん(中村)からの紹介〉

まえだ たいき  
前田 大樹 さん  
(大畑)



質問：ご自身の性格を分析してみると…

答え：明るく人なつっこいと思っています

質問：人にちょっと自慢できることを教えてください

答え：年齢を問わず誰とでも仲良くなれること

質問：あなたが思う神河町のいいところを教えてください

答え：自然が豊かで人の心が温かいところ

質問：将来の夢は何ですか？

答え：越知谷に住み続け、貢献すること

質問：あなたが今、夢中になっていることはどんなこと？(趣味など)

答え：自転車を改造すること

質問：これまでの人生の中で、一番思い出に残る出来事は？

答え：希望校に合格したこと

質問：もし何でもかなう魔法があれば、何を願いますか？

答え：元気で長生きできる体がほしい

質問：神河町のみなさんへのメッセージをどうぞ

答え：これからも住みよい神河町を作っていきたい

◎宮崎さんから前田さんへのメッセージ

「楽しい楽しい大樹君。すなおで大きくなあれ」

## 家族みんなで挑戦!!しゃきょうパズル

応募先 〒679-2414 神河町栗賀町 630  
神河町社協「パズル係」  
Eメール k-syakyo@kcni.ne.jp

応募締切 11月8日(火)

簡単なクイズを2つ出します。頭をやわらかくしてやってみてください。

①□に、+、-、×、÷のどれかを入れて、計算結果を10にしてください。

1□2□7□5=10

②お酒は20歳から飲めます。たばこも20歳から吸えます。選挙権は18歳から投票できます。では、車は何歳から乗れるのでしょうか？

答えのわかった方は、

1、問題の答え 2、住所 3、氏名 4、社協かみかわの感想をお書きの上、ハガキまたはEメールでご応募下さい。抽選でクオカードをプレゼントいたします。

前号の答え 「氷」と「△」

◎当選者 山下 洋子さん(鍛冶)

支える人を  
支える募金

## 熊本地震災害ボランティア活動支援金の報告

募金額 25,489円

\*熊本地震でのボランティア活動に活用されます。